

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク
第9回定時会員総会 議案書

次 第

1. 開 会 の 辞
2. 会 長 挨 拶
3. 議 長 選 出
4. 議 事
第1号議案 2020年度事業報告および決算報告について
第2号議案 第5期理事および監事の選任について
5. 報 告 事 項
第1号報告 アドバイザーおよび第5期幹事について
第2号報告 2021年度事業計画について
第3号報告 2021年度収支予算について
6. そ の 他
7. 閉 会 の 辞



期 日 2021年6月2日（水）

会 場 大津市打出浜2番1号
コラボしが21

第1号議案

2020年度事業報告および決算報告について

2020年度の事業報告および決算報告は別紙の通りであるので、決算報告について一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 定款第42条第2項の規定に基づき総会の承認を求めます。

2021年6月2日提出

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク

会 長 秋 山 道 雄

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 2020年度 事業報告書

I 実践促進事業 ～事業者の環境行動の水準を高める～

【中期目標:キャンペーン参加団体数、年間 200 団体を目指す】

- 事業者の環境行動を推進するため、会員から情報を収集し、「未来よきな社会」を見据えたキャンペーンを展開した。
- 様々な社会状況に対応するため、連絡会議により県内全自治体の協力体制をさらに固めた。
- グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「GPプラン滋賀」では、環境面に福祉面を加えた事業者のCSR行動を支援した。

1. グリーン購入+エシカル キャンペーン (事業者対象)

2020年10月～12月 参加団体：142団体（※別紙参加団体リスト参照）

[取り組み項目別参加団体]

- ・グリーン購入+エシカルの取り組み（環境面に加え社会面も視野に入れた購入） 142団体
- ・エコ通勤・エコトリップ（自動車を使わない通勤、買い物、旅行等） 45団体
- ・食品ロス削減の取り組み（余った食品のフードバンクへの寄付等） 59団体

2. 自治体のグリーン購入担当者連絡会議

2020年7月3日（金） 会場：大津合同庁舎 7階 7-C会議室（大津市） 出席者：23名

内容：・環境省 環境経済課 課長補佐 真鍋 秀聡氏による

「グリーン購入法」に関する研修

・連絡会議

①令和2年度自治体グリーン購入啓発リレーについて

②環境省『導入キット（仮称）』意見交換ワークショップ



7/3 環境省 真鍋氏による研修

3. 自治体のグリーン購入取組アンケート調査 2020年11月実施

II 連携推進事業 ～会員の想いと活動をつなげる～

【中期目標:研究会事業への参加者を3年間で延べ500人以上とする。】

- 社会状況を考慮し、会員交流の場として「Web ミーティング」を実施し、ポスト・コロナ社会を共に考えた。
- 「食のグリーン購入」「ゼロエミッション」「エコ交通」「生物多様性と環境・CSR」「森林と暮らしのつながり」など、様々なテーマにおける会員の連携した活動の拡大を図った。
- 各研究会連携によるフォーラム「シリーズ グリーンリカバリー」を開催した。

1. 会員 Web ミーティング (会員総会と同日開催)

『ポスト・コロナ時代を見据えて

サーキュラー・エコノミーと「グリーン経済」を考える』

2020年6月2日（火） ZOOM 利用によるオンライン開催

開催事務局：コラボしが 21 3階 研修室（大津市）

参加者：70名

講演1「未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話」

大阪商業大学 公共学部 准教授/プロジェクト保津川代表 原田 禎夫 氏



6/2 オンラインで講演いただいた
原田 禎夫 氏

講演2「捨てない未来は、このビジネスから始まる」
日本環境設計株式会社 取締役 岩元 美智彦 氏
ディスカッション

コーディネーター：滋賀県立大学 環境科学部 教授・SGN 副会長 高橋 卓也
グループ・ディスカッション (ZOOM ブレイクアウトルーム機能を利用)



6/2 オンラインで講演いただいた
岩元美智彦氏

2. 食のグリーン購入研究会

企画会議 (Web 会議) 2020年8月17日 (月) 参加者：4名
企画会議 (Web 会議) 2020年9月25日 (金) 参加者：4名
シリーズ「グリーンリカバリー」Vol.2 開催 2020年11月19日 (木)
「グリーン購入+エシカル キャンペーン」フォレオイベント出展
2020年11月14日 (土) 参加者：2名



11/19 トークセッション発信中

3. ゼロエミッション研究会

企画会議 (Web 会議) 2020年9月23日 (火) 参加者：6名
企画会議 (Web 会議) 2020年9月28日 (月) 参加者：4名
企画会議 (Web 会議) 2020年11月26日 (木) 参加者：6名
シリーズ「グリーンリカバリー」Vol.3 開催 2020年12月16日 (水)
企画会議 (Web 会議) 2021年2月22日 (木) 参加者：8名
映画上映会共催 2021年3月3日 (水) 参加者：8名



3/3 共催した映画上映会「スマホの真実」

4. エコ交通研究会

コロナ禍での移動に関するアンケート実施
2020年6月29日 (月) ~7月3日 (金) 回答数：20件
コア会議 (Web 会議) 2020年7月7日 (火) 参加者：8名
コア会議 (オンライン併用) 2020年8月21日 (金) 参加者：12名
コア会議 (オンライン併用) 2020年9月30日 (水) 参加者：10名
おでかけ企画サイクルトレイン 2020年10月18日 (日) 参加者：5名
グリーン購入+エシカルキャンペーンのエコ通勤・エコトリップとの連携
エコ通勤・エコトリップのリーフレット作成 2020年10月
参加者への電話ヒアリング調査 2021年2月
研究会のWeb ページ開設 (3記事を掲載) 2020年11月
コア会議 (オンライン併用) 2021年1月19日 (火) 参加者：10名
コア会議 (オンライン併用) 2021年1月19日 (火) 参加者：10名
メールマガジンにコラム連載 2021年2月~
シリーズ「グリーンリカバリー」Vol.5 開催 2021年3月16日 (火)



10/18 サイクルトレイン企画で訪れた
あいとうエコプラザ「菜の花館」

5. 生物多様性と環境・CSR 研究会

企画会議 (Web 会議) 2020年7月21日 (火) 参加者：9名
企画会議 (Web 会議) 2020年9月2日 (火) 参加者：8名
企画会議 (Web 会議) 2020年10月7日 (水) 参加者：8名
拡大会議 (Web 会議) 2021年1月20日 (火) 参加者：13名
シリーズ「グリーンリカバリー」Vol.4 開催 2021年2月5日 (金)



2/5 企業者の報告リレーを行った
シリーズ「グリーンリカバリー」vol.4

6. MORI と暮らしの研究会

第1回研究会 (Web 会議) 2020年4月16日 (木) 参加者：4名
第2回研究会 (Web 会議) 2020年4月23日 (木) 参加者：4名
第3回研究会 (Web 会議) 2020年5月18日 (月) 参加者：5名
現地取材 2020年8月1日 (土) 参加者：4名
場 所：奥永源寺地域 (木地師の里/クミノ工房 他)
内 容：奥永源寺の集落 箕川を訪ねて取材。
(取材内容を取りまとめた動画を制作中)



8/1 奥永源寺地域への現地取材

「グリーン購入+エシカル キャンペーン」 フォレオイベント出展
2020年11月14日(土) 参加者:2名
第4回研究会(Web会議) 2021年3月24日(水) 参加者:6名

7. グリーン経済フォーラム

～ポスト・コロナの世界を再生する「グリーンリカバリー」～

研究会連携企画セミナー シリーズ「グリーンリカバリー」を先駆ける
【Vol.1】と位置付けて開催した。

2020年10月29日(木) 参加者:116名以上
※Zoom利用のオンラインと併催、
ライブビューイング会場にコラボしが21 3階中会議室

基調講演「よりよい未来に向かう復興
ーコロナ後の世界とグリーンリカバリー」
東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 高村 ゆかり氏

事例報告1「リコーグループのESG目標と企業価値向上
～脱炭素社会実現に向けて～」
株式会社リコー 執行役員 サステナビリティ推進本部
本部長 鈴木 美佳子氏

事例報告2「脱炭素ビジネス戦略と浮体式洋上風力発電の開発」
戸田建設株式会社 戦略事業推進室 浮体式洋上風力発電事業部
事業部長 佐藤 郁氏

ディスカッション

コーディネーター:滋賀県立大学 環境科学部 教授・SGN副会長 高橋 卓也



10/29 講師の高村ゆかり氏



10/29 ライブビューイング会場

8. 研究会連携企画セミナー シリーズ「グリーンリカバリー」

研究会が連携して、シリーズ「グリーンリカバリー」セミナーを開催した。

主催:(一社)滋賀グリーン活動ネットワーク(SGN)
後援:滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

【Vol.1】グリーン経済フォーラム(再掲)

～ポスト・コロナの世界を再生する「グリーンリカバリー」～

2020年10月29日(木) 参加者:116名以上

【Vol.2】ポスト・コロナ時代を見据えて、脱炭素社会と「これからの食」を考える

2020年11月19日(木) 参加者:56名以上 ※Zoom利用のオンライン開催

企画:SGN食のグリーン購入研究会

報告「びわ湖と共生する滋賀の農林水産業」
滋賀県 農政課課長 青田 朋恵氏

講演「低炭素社会づくりを目指すオムロンの
地域に根差した地産地消の取り組み」
オムロン株式会社 草津事業所長 目片 良和氏

講演「里山の文化・豊かな感性から学ぶ菓子づくり」
株式会社叶匠寿庵 秘書広報室課長 池田 典子氏

トークセッション

コーディネーター:青田 朋恵氏

パネリスト:目片 良和氏、池田 典子氏、木田 幸司氏(食GP研・たねやグループ)



11/19 トークセッションの様子

**【Vol. 3】プラスチックと資源循環から、
びわ湖と私たちの暮らしを考える**

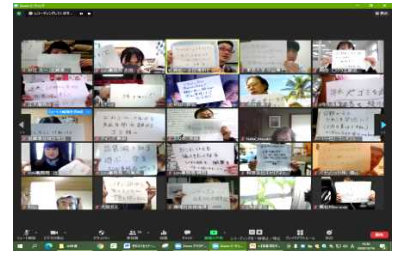
2020年12月16日（水） 参加者：65名以上
※Zoom利用のオンライン開催

共催：マザーレイクフォーラム
企画：SGN ゼロエミッション研究会

トークセッションⅠ「プラスチックと資源循環」
講演「ライフサイクル思考で見るプラスチック資源循環」
東京大学大学院 工学系研究科 講師 中谷 隼氏

トークセッションⅡ「プラスチックとびわ湖と私たち」
報告「いま琵琶湖で何が起きているのか？」
滋賀県立大学廃棄物バスターズ 代表 杉江 太一氏
琵琶湖環境科学研究センター 専門研究員 佐藤 祐一氏

ディスカッション
コーディネーター：佐藤 祐一氏



12/16 「びわ湖との約束」を参加者全員で



12/16 ディスカッションの様子

【Vol. 4】つながる・語り合う～コロナ時代のSDGs・生物多様性保全の展開～

2021年2月5日（金） 参加者：71名以上 ※Zoom利用のオンライン開催
企画：SGN 生物多様性と環境・CSR研究会

報告リレー「コロナ禍にこそ考える、当社のSDGs・生物多様性の取り組み」
①株式会社ダイフク サステナビリティ推進部 環境品質グループ 三好 順子氏
②生活協同組合コープしが 執行役員 組織部統括マネージャー 森井 徹氏
③クミノ工房 代表 井上 慎也氏
④アインズ株式会社 コンテンツビジネス課 課長 岩田 英司氏
⑤株式会社地域環境計画 大阪支社 生物多様性推進室 根岸 理佳子氏
⑥株式会社 滋賀銀行 サステナブル戦略室 室長 嶋崎 良伸氏

つながる・語り合う交流会
コーディネーター：SGN 生物多様性と環境・CSR研究会メンバー

宮永 健太郎氏
(京都産業大学 准教授)

【Vol. 5】環境先進国ドイツの叡智を滋賀へ！

**『ポストコロナ時代に向けて持続可能な交通とまちづくりを考える
～事業者、行政、市民が今やるべきこと～』**

2021年3月16日（火） 参加者：72名以上 ※Zoom&ライブビューイング開催
企画：SGN エコ交通研究会

基調講演「欧州の交通におけるトレンドと持続可能な地域づくり」
環境まちづくりジャーナリスト 村上 敦氏

特別講演「滋賀らしい『エコ交通』の推進に向けて」
滋賀県知事 三日月 大造氏

未来づくりディスカッション
コーディネーター：滋賀県立大学 環境科学部 教授 高橋 卓也氏
()



3/16 村上氏、三日月知事、高橋氏による
未来づくりディスカッション

Ⅲ 暮らし方普及事業 ～「未来よし」な暮らしを広める～

【中期目標:キャンペーン個人参加者、年間1万人以上を目指す】

- 会員お薦めのグリーン商品の情報を募集し、リストにしてWeb掲載をすることで、一般消費者に向けて情報発信を行った。
- 全自治体連携の啓発リレーを今年も実施した。子ども向けの啓発資材として「エシカルすごろく」を新たに作成したが、コロナ禍につき活用することが出来なかった。

- 大学や地域講座へ会員講師の派遣、地域事業への出展・参加を積極的に行った。
- 前年度に引き続き県との連携で、グリーン購入にエシカルの視点をプラスした行動を広げる「グリーン購入＋エシカル キャンペーン」を実施し、情報誌やイベント会場での普及啓発に加え、会員団体からその従業員への呼びかけの協力も得て、15,000人を超える参加宣言者を獲得することができた。参加宣言者に抽選で当たる景品は会員企業の協賛によるもので、10者より昨年を上回る計78名分の景品をご協賛いただき、話題を集めた。
- 昨年大好評であった連続講座を受けて行った「未来をつくる消費者講座」は、コロナ状況下で初のオンライン講座として実施。講座終了後には、昨年の講座の修了生を合わせての「修了生座談会」を実施し、県との意見交換の場を創出した。

1. 「会員発いちおしグリーン商品リスト Ver.21」発行 2020年6月 掲載商品数：197（63団体）

2. 自治体部会「買うならエコ！」リレー実施（県内全自治体連携）

■パネル展示

展示期間	実施市町	展示期間	実施市町
2020年6/29(月)～7/2(木)	滋賀県	2020年9/7(月)～9/10(木)	近江八幡市
2020年7/6(月)～7/9(木)	栗東市	2020年9/14(月)～9/24(木)	豊郷町
2020年7/13(月)～7/16(木)	守山市	2020年9/28(月)～10/1(木)	甲良町
2020年7/20(月)～7/30(木)	大津市	2020年10/5(月)～10/8(木)	多賀町
2020年8/3(月)～8/6(木)	湖南市	2020年10/12(月)～10/15(木)	米原市
(調整期間)		2020年10/19(月)～10/22(木)	愛荘町
2020年8/17(月)～8/20(木)	甲賀市	2020年10/23(金)～10/30(金)	東近江市
2020年8/24(月)～8/27(木)	日野町	2020年11/2(月)～11/5(木)	高島市
2020年8/31(月)～9/3(木)	竜王町	2021年2/5(金)～2/19(金)	長浜市

■ブース啓発

実施日・予定日	実施市町	イベント名称
2020年8月2日(日)	大津市	おおつエコフェスタ 2020 中止→パネル展示に移行
2020年9月6日(日)	草津市	リサイクルフェア草津 2020 中止→リサイクル家具抽選会にて啓発
2020年9月27日(日)	高島市	新旭ふくしま祭り 中止→パネル展示に移行
2020年10月25日(日)	愛荘町	愛荘66かまど祭 中止→パネル展示に移行
2020年11月1日(日)	野洲市	環境フェスタ
2020年11月	東近江市	ECOまつり 中止→パネル展示に移行
2020年11月	彦根市	ひこねの環境展 中止→庁舎仮工事中でありパネル展示やブース設置ができないため、本年度は実施せず
2021年3月	長浜市	長浜市環境にやさしい日フェア→パネル展示に移行



ブース啓発の様子(草津市)



パネル展示の様子(長浜市)

3. 啓発資材の作成、貸出

作成：エシカルすごろく（床置き用）

啓発パネル「プラスチックごみについて考えよう」

貸出：啓発パネル等の貸出 4件



エシカルすごろく(床置き用)

4. 会員講師の派遣

■GP プラン滋賀「グリーン購入実践講座」講師

2020年6月25日(木)	(株)明豊建設 企画営業部 アグリサイエンス部 部長	白石 昌之氏
2020年8月27日(木)	(株)滋賀銀行 総合企画部 広報室長兼 CSR 室長 滋賀県 琵琶湖環境部 温暖化対策課	嶋崎 良伸氏 廣田 大輔氏
2020年11月10日(火)	(株)アオヤマエコシステム 代表取締役 (株)叶 匠寿庵 秘書広報室 課長	青山 敦氏 池田 典子氏
2021年1月21日(木)	滋賀県立琵琶湖博物館 主任学芸員	金尾 滋史氏

■滋賀県立大学「環境経済学入門」ゲスト講師

2020年7月17日(金)	(株)平和堂 CSR 推進室 室長	鷗鷯 真知子氏
2020年7月17日(金)	(株)たねや 製造部 主任	木田 幸司氏

■滋賀県立大学「環境経営学」ゲスト講師

2020年11月25日(水)	(株)日立建機ティエラ 総務部環境・安全グループ	牛谷 健司氏
2020年11月25日(水)	(株)ダイフク サステナビリティ推進部 環境品質 G	三好 順子氏
2020年12月9日(水)	(株)近江園田ふぁーむ 会長	園田 耕一氏
2020年12月9日(水)	ベストハウスネクスト(株) 代表取締役	吉本 智氏

※京都産業大学、立命館大学への講師派遣は、コロナ禍のため中止となった。

5. 啓発イベント等開催・出展・参加

■地域事業等への出展・参加

開催日	事業名等	主催者
2020年7月1日	令和2年度「びわ湖を美しくする運動(大津地区)」参加	滋賀県
2020年8月1日 ～9月14日募集	「SDGs 子ども絵画コンクール」協賛	大津市市民活動 センター
2020年8月7日	買い物袋の有料化への対応セミナー 講師協力	長浜市商店街連盟
2020年9月～12月	「自転車ツーキニスト体験事業所」登録・参加	滋賀県
2020年9月13日	持続可能なエネルギーとまちづくりセミナー 共催 「気候危機 いま私たちのなすべきことは? ～コロナ禍を超えて～」	環人8プラス/地域エ ネルギー研究会/ 滋賀県立大学グリーンコ ンシューマーサークル
2020年9月24日	「しが発低炭素ブランド2020」認定審査会 出席	滋賀県
2020年9月28日 ～10月4日	「滋賀県消費生活フェスタ2020」出展	滋賀県
2020年10月2日	滋賀県立大学「近江環人 地域再生学座」講師協力	滋賀県立大学
2020年10月20日	「大津 SDGs 子ども絵画コンクール2020」審査会出席	大津市
2020年11月25日	令和2年度「県下一斉清掃運動」参加	滋賀県
2020年12月1日	環境省「地域循環共生圏カフェ」参加・協力	近畿地方環境事務所
2020年12月5日	「草津市地球冷やしたい推進フェア」出展	草津市
2020年12月11日	滋賀県立大学「地域デザインD」(SDGs ラジオ)出演	滋賀県立大学
2020年12月23日	「人と環境にやさしい交通を目指す全国大会」打合せ	同実行委員会
2021年1月6日	「人と環境にやさしい交通を目指す全国大会」打合せ	同上
2021年1月7日	FM おおつ「Cool Choice 宣言」参加	(株)FM おおつ
2021年1月14日	「SDGs 連続講座×三方よし+αシネマ」講師協力	びわ湖東北部 地域連携協議会
2021年3月3日	「スマホの真実」上映会 共催(ゼロエミッション研究会)	同上
2021年3月27、 28日	もったいないフェス2021	もったいないフェス 実行委員会

■地域の関係団体との連携

- ・うみごみ対策琵琶湖プロジェクト実行委員会（委員）
2020年5月 総会（書面による議決）
- ・日本エシカル推進協議会（会員）
2020年6月29日 2020年度定時総会 出席
- ・滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会（委員）
2020年8月21日 第1回会議（書面開催）
- ・滋賀県環境審議会（委員）
2020年9月1日 環境企画部会 出席
2020年11月9日 環境企画部会 出席
2021年1月25日 温暖化対策部会 出席
- ・滋賀県契約の在り方検討懇話会（委員）
2020年9月8日 第1回検討懇話会 出席
2020年10月1日 第3回検討懇話会 出席
2020年10月15日 第3回検討懇話会 出席
2021年2月1日 第4回検討懇話会 出席
- ・大津市廃棄物減量等推進審議会（委員）
2020年10月13日 平成31年・令和2年期 第3回審議会 出席
- ・（福）しがぎん福祉基金 評議員として参加 5月（書面会議）
- ・滋賀プラス・サイクル推進協議会 委員として参加 11月（書面表決）



10/20 大津 SDGs 子ども絵画コンクール受賞式



10/4 ビバシティ彦根での消費生活フェスタ

6. 「グリーン購入+エシカル キャンペーン」（個人対象）

実施期間：2020年10月～12月（個人の参加宣言は2021年2月まで受付）

- 呼びかけ項目：
- ①マイバッグ・マイボトルを持っていこう
 - ②包装の少ないものや、つめかえ品をえらぼう
 - ③滋賀県産をえらぼう
 - ④フェアトレード商品をえらぼう
 - ⑤「買い物メモ」を持っていこう
 - ⑥近いところなら自転車で行こう

キャンペーン参加宣言者数：15,322人（参加宣言書の回収数）



キャンペーンポスター

参加者プレゼント協賛団体：

琵琶湖汽船(株)	ミシガン ペア乗船券	5名様分
(株)千成亭風土	商品券 2000円	3名様分
(株)国華荘 びわ湖花街道	温泉ペア入浴券	10名様分
(株)叶 匠寿庵	菓子詰合せ (6,000円相当)	2名様分
(特非)愛のまちエコ倶楽部	菜たね油「菜ばかり」量り売り引換券 (500g)	10名様分
滋賀県地域女性団体連合会	びわこ石けん「エコクリーン」(1kg入り) 3袋	10名様分
(株)平和堂	1000円分商品券	20名様分
(株)明豊建設	有機肥料「湖の恵」2袋セット	5名様分
工房シーダーノ	すとりーている・大麦ストロー (ケース入り)	10名様分
日産陶業(株)	電気のいらない陶器の加湿器	3名様分

ご協賛いただいた事業者様、ありがとうございました。

IV 企画広報事業 ～未来に向けて活動を深める～

【中期目標：年1回以上活動に参加する会員を、3年間で70%に引き上げる】

- 社会的状況から、会員総会は書面表決をお願いしての開催となった。
- 会員の取組み紹介やエコトピックス等、グリーン購入情報満載のニュースレターを作成し、お届けした。
- ホームページのバナーに「エコペんの部屋」「エコ交通研究会」を新設した。また、オンラインセミナー後の講師資料配布方法として、会員専用ページを活用した。
- 新たな活動ビジョンのもとに設定した中期目標「年1回以上活動に参加する会員の割合の引き上げ」については、初年度である2020年度は56.3%の会員が年1回以上の活動に参加するという実績を得た。

1. 第8回定時会員総会の開催

2020年6月2日(火) 会場：コラボしが21(大津市)
 出席者：325団体(出席5、委任状283、議決権行使書37)
 内容：2019年度事業報告・決算報告について/理事・監事の選任について/2020年度事業計画・予算について/アドバイザーについて

2. ニュースレターの発行 1回発行

第37号 8月発行

3. ホームページ 随時更新

- 1) 新しい部屋(バナー)を作成・公開
 - ・エコペんの部屋
 - ・エコ交通研究会
- 2) オンラインセミナー後の講師配布資料をパスワード付きで会員ページにて公開



ニュースレター第37号

4. メルマガ・FAX リリースの発行 12回発行

vol. 273号発行(2020年4月9日)	vol. 274号発行(2020年5月12日)
vol. 275号発行(2020年6月11日)	vol. 276号発行(2020年7月9日)
vol. 277号発行(2020年8月6日)	vol. 278号発行(2020年9月3日)
vol. 279号発行(2020年10月1日)	vol. 280号発行(2020年11月5日)
vol. 281号発行(2020年12月3日)	vol. 282号発行(2021年1月7日)
vol. 283号発行(2021年2月4日)	vol. 284号発行(2021年3月4日)

5. インターネット活用による活動方法に関する検討

- ・ホームページのモバイル対応を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、その対策として、会議やセミナー等のオンライン対応が必要となったため、環境の整備や運用方法等について研究・検討を重ねた。



HPエコペんの部屋より

6. 会員紹介者の表彰等

2020年度中に、以下の会員より新規会員をご紹介いただいた。

- 1者ご紹介：滋賀県地域女性団体連合会様
 くのるくらすの創造舎様
 賛助会員 中川武司様



HPエコ交通研究会の部屋より

7. 新規会員の開拓

以下の企業宛て入会案内を発送した。

- ・滋賀県中小企業家同友会役員 95 社
- ・滋賀県環境保全協会会員 288 社
- ・滋賀県建設業協会 398 社

8. 会員証発行 正会員に 2020 年度会員証を発行・送付した。
賛助会員の新規申込者に会員証を発行・送付した。

V GPプラン滋賀登録制度推進事業【県受託】

- グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度（GP プラン滋賀）」を運営し、県内事業者のグリーン購入実践促進に取り組んだ。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症対応策として、開催形態にオンラインも取り入れた支援プログラムも実施した。

1. 登録受付、登録証発行、登録者管理、登録者の実践支援

登録者数（年度当初）191 事業者（STEP 2：26、STEP 1：165）

2. 支援プログラム

（1）基礎研修会

2020 年 8 月 27 日（木）	会場：G-NET しが（近江八幡市）	参加者：3 名
2020 年 9 月 15 日（火）	会場：旧大津公会堂（大津市）	参加者：9 名
2020 年 10 月 6 日（火）	会場：彦根勤労福祉会館（彦根市）	参加者：3 名
2021 年 1 月 21 日（木）	会場：ピアザ淡海（大津市）	参加者：4 名

内容「滋賀県のグリーン購入の取組・グリーン入札制度について」 滋賀県 会計管理局 管理課
「グリーン購入の基礎について」 SGN 事務局

（2）グリーン購入実践講座

全 6 回とも冒頭で滋賀県 会計管理局 管理課が「滋賀県グリーン入札について」説明した。

○前期 1 <大津会場>

2020 年 9 月 15 日（火） ※緊急事態宣言の発出により、4 月 23 日から順延した
会場：旧大津公会堂（大津市）及び Zoom によるライブ配信
参加者：55 名

「種からタオル ～つくる責任つかう責任を果たす」

I KEUCHI ORGANIC（株） 代表 池内 計司氏

○前期 2 <彦根会場>

2020 年 6 月 25 日（木） 会場：滋賀県消費生活センター（彦根市） 参加者：27 名
「SDGs × エシカルな琵琶湖環境保全プロジェクト！」

（株）明豊建設 企画営業部 アグリサイエンス部 部長 白石 昌之氏

「10 年後の彼を見つめた就労支援」～未来への下ごしらえ～

社会福祉法人わたむきの里福祉会 東近江圏域働き・暮らし応援センター

” Tekito-” センター長 野々村 光子氏

○前期 3 <近江八幡会場>

2020 年 8 月 27 日（木） 会場：G-NET しが（近江八幡市）
参加者：30 名

「しらなきやばい SDGs ～これから求められる経営とは」

（株）滋賀銀行 サステナブル戦略室長 嶋崎 良伸氏



8/27 実践講座【前期 3】の風景

「滋賀県の気候変動と“しがCO2 ネットゼロ”
ムーブメントの開始について」

滋賀県 琵琶湖環境部 温暖化対策課 廣田 大輔氏

○後期1 <彦根会場>

2020年10月6日(火) 会場:彦根勤労福祉会館(彦根市) 参加者:19名
「グリーン購入リーダー講座1～グリーン購入を地域に広げよう～」
SGN 事務局長 辻 博子

○後期2 <近江八幡会場>

2020年11月10日(火) 会場:G-NETしが(近江八幡市) 参加者:20名
「製造業の問題解決からSDGs達成を目指して」
(株)アオヤマエコシステム 代表取締役 青山 敦氏
「百年先を見据えた里山保全・自然から学ぶ菓子づくり」
(株)叶 匠寿庵 秘書広報室 課長 池田 典子氏

○後期3 <大津会場>

2021年1月21日(木) 参加者:71名
会場:ピアザ淡海(大津市)及びZoomによるライブ配信
「魚からみた滋賀県の水辺環境」
滋賀県立琵琶湖博物館 主任研究員 金尾 滋史氏



1/21 実践講座【後期3】のオンライン画面風景

3. ヒアリング

- ・STEP2登録10者に個別ヒアリング実施、16者にレポートヒアリング実施
- ・STEP1登録5者に訪問ヒアリング実施

4. ナイスハート物品購入制度の普及啓発

滋賀県「ナイスハート物品購入制度」の普及に向けて、アンケート実施、企業訪問や訪問ヒアリング、検討会を実施した。

VI エシカル推進事業【県受託】

○エシカル消費を含めた持続可能な滋賀県発の新しい消費行動を、県民一人ひとりが自分事として捉え、日々の生活に定着させることを目的として、消費者リーダー育成講座の開催、普及啓発キャンペーンの実施、テレビ番組出演による啓発等を県との連携で実施した。



1. 「未来をつくる消費者講座」(全7回)の開催

2020年7月～10月 ※ZOOMによるオンライン開催

【第1回】開講式・グリーン購入・エシカル消費とSDGs 参加者:23名

講義1「グリーン購入+エシカルで未来よし」

講師:SGN事務局

辻 博子

講義2「小学生でもよくわかる、SDGsの学び直し」

講師:(有)ガイアコミュニティ～ふうどこむら～主宰 風かおる氏

【第2回】滋賀の暮らしと環境、地球温暖化 参加者:26名

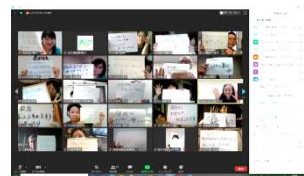
講義3「地域循環を意識したまちづくり」

講師:(公財)東近江三方よし基金 常務理事 山口 美知子氏

講義4「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業」

講師:滋賀県 農林水産部農政課 課長

青田 朋恵氏



山口美知子氏

講義5 「琵琶湖のこれまで、そしてこれから」
講師：琵琶湖環境科学センター 専門研究員 佐藤 祐一氏



佐藤祐一氏

講義6 「地球温暖化と私たちの暮らし」
講師：滋賀県地球温暖化防止活動推進員 松田 明子氏
滋賀県地球温暖化防止活動推進センター キャリアアドバイザー 来田 博美氏

【第3回】未来よしライフスタイルのデザイン・ワークショップ1 参加者：25名
講義7 「迫りくる地球環境制約を知る」

講義8 「バックキャスト思考を学ぶ」
講師：東京都市大学 環境学部 環境経営システム学科 教授 古川 柳蔵氏



古川柳蔵氏

【第4回】未来よしライフスタイルのデザイン・ワークショップ2 参加者：19名
講義9・10 「ライフスタイルをデザインする」
講師：東京都市大学 環境学部 環境経営システム学科 教授 古川 柳蔵氏

【第5回】エシカル商品の製造現場を知る 参加者：25名

講義11 「びわ湖とつながるヨシ・ノート」
講師：(株)コクヨ工業滋賀 開発グループ 課長 岡田佳美氏

講義12 「W リサイクルの競走馬ゼッケン・バッグ」
講師：びわこみみの里 副所長 板垣 幸男氏

講義13 「森から生まれたエシカル商品」
講師：(株)アアルズ 代表取締役 辻 利樹氏
クミノ工房 代表 井上 慎也氏
ベストハウスネクスト(株) 代表取締役 吉本 智氏



事務局が現地に出向いての生取材

【第6回】エシカル商品の裏側を学ぶ 参加者：23名

講義14 「10年後の彼を見つめた就労支援～未来へのしたごしらえ～」
講師：働き・暮らし応援センター “Tekito” 野々村 光子氏

講義15 「しがSDGs エシカルコスメによる地方創生の可能性」
講師：(株)みんなの奥永源寺 代表取締役 前川 真司氏

講義16 「フェアトレードとエシカル・ファッション」
講師：(株)シサム工房 副代表 人見 とも子

講義17 「整理収納のスキルから三方よしのライフスタイルへ」
講師：Link しが 代表 香田 雅子氏



合言葉は「ハイ！グリーン！」

【第7回】私から広げる『何か』を見つける・修了式 参加者：21名

講義18 「私から広げる『何か』を見つけよう！」
講師：(特非)碧いびわ湖 代表理事 村上 悟氏

講義19・20 「自分探しのワークショップ」
講師：SGN 事務局長 辻 博子

なお、10月22日と2月9日に1期生（2019年度講座受講者）・2期生（2020年度講座受講者）修了生の座談会を開催し、近況報告を交えた自由な意見交換、県からの情報提供等を行った。

2. 普及啓発キャンペーンの実施（個人対象）（※「グリーン購入+エシカルキャンペーン」として実施）

実施期間：2020年10月～12月（個人の参加宣言は2021年1月上旬まで受付）

(1) 「宣言書」兼PRチラシ・PRポスターの作成、配布

SGN事業を通して、また、県と県内各市町を含むSGN会員および協力小売店等約785者を通して県民に配布・掲示した。



「宣言書」兼 PR チラシ (A4 表)



「宣言書」兼 PR チラシ (A4 裏)



PR ポスター (A2)

(2) 啓発資材の作成

のぼり、啓発パネル、キャンペーン看板を作成し、キャンペーン会場での啓発活動に使用した。



のぼり



啓発パネル



キャンペーン看板

(3) 啓発イベントの実施

【彦根会場】

2020年10月4日(日) 来場者: 約140人
 会場: ビバシティ彦根 1階センターモール
 ※「滋賀県消費生活フェスタ2020」内にて実施
 ※パネル展示は9月28日(月)~10月4日(日)



10/4 ビバシティ彦根でのイベントの様子

【大津会場】

2020年11月14日(土) 来場者: 約160人
 会場: フォレオ大津一里山 2階イベントスペース
 ※パネル展示は11月9日(月)~11月16日(月)



11/14 フォレオ大津一里山でのイベントの様子

【草津会場】

2020年12月5日(土) 来場者: 約150人
 会場: イオンモール草津 1階イベントスペース
 ※「草津市地球冷やしたい推進フェア」内にて啓発



12/5 イオンモール草津でのイベントの様子

(4) 企業・小売店の協力実績

生活協同組合コープしが全組合員へのチラシ配布、および同4店舗、平和堂74店舗、イオンリテール4店舗で店内放送やポスターの掲示等を行う等、県内229店舗がキャンペーンに参加した。

(5) 「キャンペーン参加宣言」の受付

参加宣言者 15,322人
 ※2月中旬に抽選を行い、当選者に景品を発送した。

3. テレビ番組による啓発

2021年3月19日(金) 19:00~20:00のうちの7分間
番組名:びわ湖放送「金曜オモロしが」
場 所:びわ湖放送内スタジオ
出演者:番組MC 桂三度氏、アシスタント 数野祐子氏、
「未来をつくる消費者講座」修了生の代表者3名、
GINLALA、SGN事務局1名
内 容:「未来をつくる消費者講座」報告、
「グリーン購入」「エシカル消費」の啓発、
消費者講座から生まれた事業「もったいないフェス」のPR等



3/19 「金曜オモロしが」でのメディア啓発

2021年3月26日(金) 追加放送として「エシカルソング」を番組内で紹介

4. 講座修了生企画「もったいないフェス2021」共催

2021年3月27日(土)・28日(日) 11:00~17:00
来場者:約200名
会 場:ファブリカ村(東近江市佐野長657)
主 催:もったいないフェス実行委員会2021
共 催:(一社)滋賀グリーン活動ネットワーク
後 援:滋賀県



3/27・28 「もったいないフェス2021」実行委員

内 容:「未来をつくる消費者講座」最終講義で発表された事業のひとつが実現したもの。
SDGs 達成年度の2030年に向けて継続的な活動をするを目標に掲げている。
①捨てる前に活かす工夫や、「もったいない」をオシャレの力で蘇らせて丁寧に暮らす事の
提案として、ワークショップ等を実施する。
②エコクイズラリーを通して、グリーン購入、エシカル消費等の普及啓発を行う。

VII 理事会・幹事会等の開催

1. 理事会の開催

■第28回理事会	(2020年5月8日)	出席者	理事5名	監事1名	陪席者5名
■第29回理事会	(2020年9月18日)	出席者	理事7名	監事1名	陪席者4名
■第30回理事会	(2021年3月12日)	出席者	理事7名	監事2名	陪席者7名

2. 幹事会の開催

■2020年度第1回(第82回)幹事会	(2020年9月10日)	出席者	21名
■2020年度第2回(第83回)幹事会	(2021年2月24日)	出席者	26名

3. 部会の開催

■2020年度第1回	実践促進部会(メール会議)	(2020年4月21日)	出席者	10名
■2020年度第1回	連携推進部会(Web会議)	(2020年4月14日)	出席者	12名
■2020年度第2回	連携推進部会(Web会議)	(2020年6月29日)	出席者	14名
■2020年度第3回	連携推進部会(Web会議)	(2020年8月3日)	出席者	12名
■2020年度第1回	暮らし方普及部会(Web会議)	(2020年4月13日)	出席者	8名
■2020年度第1回	企画広報部会(Web会議)	(2020年4月20日)	出席者	13名
■2020年度第1回	自治体部会(担当者連絡会議)	(2020年7月3日)	出席者	25名

Ⅶ その他

1. 協賛バナー広告協力団体

滋賀ダイハツ販売株式会社様（1年間）
株式会社 平和堂様（1年間）

2. 寄附をいただいた団体

- ・2020年7月 日産陶業株式会社様より
エコペンイラスト入り炭化消臭剤 489個
- ・2020年9月 株式会社ダイフク様より 20万円
- ・2020年9月 イオンリテール株式会社様より 331,986円



エコペン炭化消臭剤

参考資料

2020年度 事業報告書

ミッションの位置づけ

A. 事業者の環境行動の水準を高める	D. 未来に向けて活動を深める
B. 会員の想いと活動をつなげる	
C. 「未来よし」な暮らしを広める	

ビジョン	滋賀から「グリーン経済」をつくる ～ 子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる「未来よし」な社会をつくる ～			
ミッション	A. 事業者の環境行動の水準を高める	B. 会員の想いと活動をつなげる	C. 「未来よし」な暮らしを広める	D. 未来に向けて活動を深める
事業名	実践促進事業	連携推進事業	暮らし方普及事業	企画広報事業
2020年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入＋エシカルキャンペーン(事業者対象)(142団体) ・自治体のグリーン購入担当者連絡会議(23名) ・GPプラン滋賀事業【県委託】 <ul style="list-style-type: none"> ①実践講座×6回(222名) ②基礎研修会×4回(延べ19名) ③登録者ヒアリング・実践支援(31者) ④ナイスハート購入制度PR等(6者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員Webミーティング(40/70名) ・食のグリーン購入研究会セミナー(9/56名以上) ・ゼロエミッション研究会セミナー(38/65名以上) ・エコ交通研究会セミナー(36/72名以上) ・生物多様性と環境・CSR研究会セミナー(46/71名以上) ・MORIと暮らしの研究会現地取材 ・グリーン経済フォーラム(58/116名以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いちおしグリーン商品リスト(197点/63団体) ・自治体部会「買うならエコ！」リレーパネル展示(17自治体) ・ブース啓発(2自治体) ・啓発資料の作成(2点)・貸出(4件) ・講師派遣事業(11名) ・地域事業への出展・参加(19回) ・地域の関係団体との連携(8団体/13回) ・グリーン購入＋エシカルキャンペーン(15,322名) ・グリーン購入＋エシカル推進事業【県委託】 <ul style="list-style-type: none"> ①普及啓発キャンペーン ②未来をつくる消費者講座(全7回)(受講生31名/参加者延べ162名) ③1期生・2期生修了生の会(2回/33名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員総会(325団体) ・ニュースレター 1回発行 ・ホームページ随時更新(エコペんの部屋、エコ交通研究会) ・メルマガ・FAXリリース 12回発行 ・インターネット活用に関する検討(セミナー終了後の資料提供に活用) ・ホームページのモバイル対応 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・総会 1回 ・理事会 3回 ・幹事会 2回 ・部会 7回 </div>
担当部会	実践促進部会	連携推進部会	暮らし方普及部会	企画広報部会
中期目標 2020～ 2022年度	キャンペーン参加団体数 年間200団体を目指す	研究会事業への参加者 3年間で延べ500人以上とする	キャンペーン個人参加者 年間1万人以上を目指す	年1回以上活動に参加する会員を 3年間で70%に引き上げる
2020年度実績	G購入＋エシカルキャンペーン参加 142団体	研究会事業への参加者 2020年度 227人	G購入＋エシカルキャンペーン個人参加者 15,322人	2020年度1回以上活動に参加した会員 56.3%
活動報告	<p>○事業者の環境行動を推進するため、会員から情報を収集し、「未来よしな社会」を見据えたキャンペーンを展開した。</p> <p>○様々な社会状況に対応するため、連絡会議により県内全自治体の協力体制をさらに固めた。</p> <p>○グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「GPプラン滋賀」では、環境面に福祉面を加えた事業者のCSR行動を支援した。コロナ禍により、オンライン講演やオンライン受講にも一部も対応し、支援体制を強化した。</p>	<p>○社会的状況を考慮し、会員交流の場として「Webミーティング」を実施し、ポスト・コロナ社会を共に考える機会を創出した。</p> <p>○「食のグリーン購入」「ゼロエミッション」「エコ交通」「生物多様性と環境・CSR」「森林と暮らしのつながり」など、様々なテーマにおける会員の連携した活動の拡大を図るため、各研究会連携企画セミナー シリーズ「グリーンリカバリー」を開催した。</p> <p>○シリーズvol.1を「グリーン経済フォーラム」に位置づけ、ポスト・コロナ社会を様々な方向から考えた。</p>	<p>○会員のお薦め商品リストをWeb掲載し、情報交換、情報提供を行った。</p> <p>○全自治体の連携による啓発リレーを計画実施したが、コロナ禍によりイベント等が中止になる中、パネル展示に変更する自治体もあった。</p> <p>○子ども向け「エシカルすごろく」を作成したが、コロナ禍で残念ながら使用する機会がなかった。</p> <p>○大学や地域講座へ会員講師の派遣、地域事業への出展・参加も可能な限り積極的に行った。</p> <p>○県との連携で、グリーン購入にエシカル視点をプラスした行動を広げるキャンペーンを実施し、会員の協力により予想を上回る宣言者を集めることが出来た。昨年大好評だった消費者講座も今年は全7回で全オンライン開催し、幅広い年齢層の参加者を得ることが出来た。この講座から生まれた事業企画が早くも実現し、2030年に向けた継続事業として動き出した。また、2019年度消費者講座修了生を合わせた修了生の会の今後の活躍も期待されている。</p>	<p>○社会的状況から、会員総会は書面表決をお願いしての開催とした。</p> <p>○会員の取組紹介やエコピックス等、グリーン購入情報満載のニュースレターをお届けした。</p> <p>○新しいバナーとして、「エコペんの部屋」「エコ交通研究会」を作成・公開した。</p> <p>○オンライン講座の資料配布の方法として、ホームページ会員ページからのパスワード付きのダウンロードという方法を採用した。</p> <p>○新規会員の開拓として、約800者へ入会案内を発送し、広報活動を行った。</p> <p>○ホームページをモバイル対応に修正し、メルマガ・FAXリリースも含めて「使える情報」の提供に努めた。</p>

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク
2020年度(第8期)決算報告書(案)

- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

貸借対照表

2021年(令和3年)3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,903,489	2,445,251	541,762
未収金	1,000	209,000	208,000
流動資産合計	1,904,489	2,654,251	749,762
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	1,904,489	2,654,251	749,762
負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	1,077,519	2,103,987	1,026,468
前受金	11,000	5,000	6,000
預り金	31,650	23,540	8,110
流動負債合計	1,120,169	2,132,527	1,012,358
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,120,169	2,132,527	1,012,358
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	784,320	521,724	262,596
正味財産合計	784,320	521,724	262,596
負債及び正味財産合計	1,904,489	2,654,251	749,762

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

正味財産増減計算書

2020年（令和2年）4月1日 から2021年（令和3年）3月31日 まで

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	5,484,000	5,048,000	436,000
個人賛助会員受取会費	84,000	78,000	6,000
受取会費計	5,568,000	5,126,000	442,000
事業収益			
事業収益	588,110	1,204,885	△ 616,775
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	1,800,000	1,800,000	0
受取受託金	11,570,000	12,359,000	△ 789,000
受取補助金等計	13,370,000	14,159,000	△ 789,000
受取寄付金			
受取寄付金	592,229	627,861	△ 35,632
雑収益			
受取利息	30	37	△ 7
経常収益計	20,118,369	21,117,783	△ 999,414
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	9,324,384	9,598,084	△ 273,700
法定福利費	1,097,638	1,057,525	40,113
旅費交通費	100,660	147,366	△ 46,706
通信運搬費	691,730	613,493	78,237
消耗品費	970,640	774,591	196,049
印刷製本費	754,050	1,645,290	△ 891,240
賃借料	473,003	669,919	△ 196,916
保険料	5,000	0	5,000
諸謝金	410,000	885,740	△ 475,740
租税公課	2,000	2,000	0
委託費	2,012,710	2,341,733	△ 329,023
雑費	110,207	250,129	△ 139,922
事業費計	15,952,022	17,985,870	△ 2,033,848
管理費			
給料手当	1,789,223	1,804,897	△ 15,674
退職金共済掛金	96,000	96,000	0
福利厚生費	36,234	22,896	13,338
法定福利費	392,400	378,726	13,674
旅費交通費	52,650	65,410	△ 12,760
通信運搬費	235,974	194,532	41,442
消耗品費	269,317	345,530	△ 76,213
賃借料	855,608	843,960	11,648
租税公課	20,000	52,000	△ 32,000
年会費	10,000	0	10,000
雑費	74,145	53,248	20,897
管理費計	3,831,551	3,857,199	△ 25,648
経常費用計	19,783,573	21,843,069	△ 2,059,496
評価損益等調整前当期経常増減額	334,796	△ 725,286	1,060,082
当期経常増減額	334,796	△ 725,286	1,060,082
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
引当金取崩益	0	1,000,000	△ 1,000,000
経常外収益計	0	1,000,000	△ 1,000,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	1,000,000	△ 1,000,000
税引前当期一般正味財産増減額	334,796	274,714	60,082
法人税、住民税及び事業税	72,200	72,200	0
当期一般正味財産増減額	262,596	202,514	60,082
一般正味財産期首残高	521,724	319,210	202,514
一般正味財産期末残高	784,320	521,724	262,596
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	784,320	521,724	262,596

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

財 産 目 録

2021年（令和3年）3月31日 現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）	普通預金	滋賀/県庁 (NO. 506188)		1,903,489
	未収金			1,000
流動資産合計				1,904,489
固定資産合計				0
資産合計				1,904,489
（流動負債）	未払費用	源泉所得税		1,077,519
	前受金			11,000
	預り金			31,650
流動負債合計				1,120,169
固定負債合計				0
負債合計				1,120,169
正味財産				784,320

収入の部

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正後 予算額	決算額	決算見込額の内訳
受取会費	5,328,000	5,565,000	5,568,000	正会員会費 (470団体分) 5,484,000 賛助会員会費 (26名分) 84,000
受取補助金	1,800,000	1,800,000	1,800,000	県 SGN補助金 1,800,000
事業収益	624,400	586,200	588,110	講師派遣料等 135,840 協賛バナー広告料 264,000 チラシ同封サービス・NL購読料他 72,150 セミナー等参加料 22,000 新しい生活・産業様式確立支援事業 助成金 94,120
受託金	11,570,000	11,570,000	11,570,000	グリーン購入実践プラン滋賀 4,870,000 エシカル消費推進事業 6,700,000
受取寄付金	50,000	592,000	592,229	イオンリテール様 331,986 ダイフク様 200,000 その他 60,243
雑収益	5,876	76	30	30
前年度繰越金	521,724	521,724	521,724	
収入合計	19,900,000	20,635,000	20,640,093	

支出の部

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正後 予算額	決算額	決算見込額の内訳
事業費	15,677,800	16,062,800	15,952,022	実践促進事業 792,390 連携推進事業 1,152,932 暮らし方普及事業 972,140 企画広報事業 1,370,440 グリーン購入実践プラン滋賀 4,870,000 エシカル消費推進事業 6,700,000 新しい生活・産業様式確立支援事業 94,120
管理費	3,850,000	3,900,000	3,831,551	給料手当・法定福利費等 2,313,857 事務所費等 855,608 旅費・通信運搬費・消耗品費等 662,086
租税公課	72,200	72,200	72,200	
予備費	300,000	600,000	0	
支出合計	19,900,000	20,635,000	19,855,773	
収支差額			784,320	うち200,000円は研究会への寄付分

監査報告書

2020年度一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 会計について、
厳正なる監査をいたしましたところ、適正に処理されたと認められますので
報告します。

2021年 5月10日

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

監事 嶋崎 良伸 

監事 千代 博 

第2号議案

第5期理事および第5期監事の選任について

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 第5期理事および第5期監事について、一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク定款 第22条の規定に基づき総会における選出をお願いいたします。

2021年6月2日提出

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク
会長 秋山道雄

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 第5期役員 (案)

任期：2021年6月～2023年6月

理 事	株式会社 沢田商店	代表取締役	沢田 昌宏
	日本電気硝子株式会社	環境管理部 部長代理	外間 喜春
	株式会社 平和堂	サステナビリティ 推進室 室長	鷓鴣 真知子
	特定非営利活動法人 碧いびわ湖	代表理事	村上 悟
	公益財団法人 淡海環境保全財団	理事長	中鹿 哲
	公立大学法人 滋賀県立大学	名誉教授	秋山 道雄
	公立大学法人 滋賀県立大学	環境科学部 教授	高橋 卓也
	滋賀県	会計管理局 次長	辻本 誠
	草津市	環境経済部 部長	寺田 哲康

監 事	株式会社 滋賀銀行	サステナブル戦略室 室長	嶋崎 良伸
	公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ	常務理事 兼 事務局長	笹井 仁治

【報告事項】 第1号報告

アドバイザーおよび第5期幹事について

名 誉 会 長	土屋 正春	滋賀県立大学 名誉教授
アドバイザー	郡 嶋 孝	環境経済学 (同志社大学 名誉教授)
	中 原 秀樹	消費者教育学 (東京都市大学 名誉教授)
	徳 満 勝久	材料科学 (滋賀県立大学 工学部 教授)
	藤 井 絢子	地域環境学 (元滋賀県環境生活協同組合 理事長)

幹 事	企 業	アインズ株式会社
		油藤商事株式会社
		株式会社 一花
		大阪ガス株式会社 滋賀事業所
		株式会社 滋賀原木
		新江州株式会社
		株式会社 ダイフク
		たねやグループ
		日本電気硝子株式会社
		びわ湖パナソニックファミリー会
		びわ湖放送株式会社
		藤野商事株式会社
		ベストハウスネクスト株式会社
		リコージャパン株式会社 滋賀支社
	民間団体	公益財団法人 淡海環境保全財団
		グリーン近江農業協同組合
		滋賀県生活協同組合連合会
		滋賀県地域女性団体連合会
		滋賀県立大学廃棄物バスターズ
		循環型社会創造研究所えこら
		輪の国びわ湖推進協議会
	行 政	滋賀県
		大津市
		彦根市
		野洲市
		日野町

任期：2021年4月1日～2023年3月31日 【2021年3月12日 理事会承認済】

第2号報告 2021年度事業計画について

2021年度 事業計画書

ミッションの位置づけ

A.事業者の環境行動の水準を高める	D.未来に向けて活動を深める
B.会員の想いと活動をつなげる	
C.「未来よし」な暮らしを広める	

ビジョン	滋賀から「グリーン経済」をつくる ～ 子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる「未来よし」な社会をつくる～			
ミッション	A. 事業者の環境行動の水準を高める	B. 会員の想いと活動をつなげる	C. 「未来よし」な暮らしを広める	D. 未来に向けて活動を深める
事業名	実践促進事業	連携推進事業	暮らし方普及事業	企画広報事業
2021年度事業	1.グリーン購入＋エシカルキャンペーン(事業者対象) 2.自治体のグリーン購入担当者連絡会議 3.GPプラン滋賀事業【県委託】 ①実践講座×6回 ②基礎研修会×4回 ③登録者ヒアリング・実践支援 ④ナイスハート購入制度PR等	1.グリーン経済フォーラム 2.食のグリーン購入研究会 3.ゼロエミッション研究会 4.エコ交通研究会 5.生物多様性と環境・CSR研究会 6.MORIと暮らしの研究会 他	1.いちおしグリーン商品リスト 2.自治体部会「買うならエコ！」リレー 3.啓発資材の作成・貸出 4.講師派遣事業 5.地域事業への出展・参加 6.グリーン購入＋エシカル キャンペーン(消費者対象)	1.会員総会 2.会員情報交換会(Webミーティング) 3.ニュースレター 2回発行 4.ホームページ随時更新 5.メルマガ・FAXリリース 12回発行 6.インターネット活用による活動方法に関する検討 7.会員紹介者の表彰等
	○CO2ネットゼロ社会に向けた取組を推進するため、会員の活動を一步前に進めるキャンペーンを展開します。 ○県内全自治体の協働により滋賀からグリーン購入とCO2ネットゼロに向けた取組を推進します。 ○グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「GPプラン滋賀」では、 環境面に福祉面を加えた事業者のCSR行動を支援 します。	○各研究会連携によるフォーラム開催を通して、CO2ネットゼロ社会の実現に向けて、 企業、行政、市民がなすべきことについて普及啓発 を行います。 ○ 会員が主体的に企画・運営に関わる研究会は、会員の交流・連携の場 でもあります。ぜひ、興味のある研究会に参加してください。新たなテーマの研究会をつくることも可能です。	○ 会員のお薦め商品リストをWeb掲載 しています。ご活用ください。 ○ 全自治体連携の啓発リレー を継続実施します。 ○大学や地域講座へ 会員講師を派遣 しますので、ご相談ください。 ○ グリーン購入にエシカル の視点をプラスした行動を広げるキャンペーンを県との連携により今年も実施します。	○社会的状況から、会員総会は書面による表決をお願いしての開催とします。 ○会員の取組紹介やエコトピックス等、 グリーン購入情報満載のニュースレター を年2回お届けします。 ○SNSやZoomを活用した活動方法について、さらに検討を進めます。 ○新規会員を紹介してくださった 会員の表彰等 を行います。
担当部会	実践促進部会	連携推進部会	暮らし方普及部会	企画広報部会
中期目標 2020～ 2022年度	キャンペーン参加団体数 年間200団体を目指す	研究会事業への参加者 3年間で延べ500人以上とする	キャンペーン個人参加者 年間1万人以上を目指す	年1回以上活動に参加する会員を 3年間で70%に引き上げる

第3号報告 2021年度収支予算について

収入の部

(単位:円)

科 目	2021年度 予算額	前年度 当初予算額	増減	2021年度予算額の内訳
受取会費	5,596,000	5,328,000	268,000	正会員会費 (475団体分) 5,521,000 賛助会員会費 (25名分) 75,000
受取補助金	1,800,000	1,800,000	0	県 SGN補助金 1,800,000
事業収益	467,700	624,400	▲ 156,700	講師派遣料等 150,000 協賛バナー広告 132,000 チラシ同封サービス・NL購読費他 185,700
受託金	4,870,000	11,570,000	▲ 6,700,000	グリーン購入実践プラン滋賀 4,870,000
受取寄付金	180,000	50,000	130,000	
雑収益	1,980	5,876	▲ 3,896	
前年度繰越金	784,320	521,724	262,596	
収入合計	13,700,000	19,900,000	▲ 6,200,000	

支出の部

(単位:円)

科 目	2021年度 予算額	前年度 当初予算額	増減	2021年度予算額の内訳
事業費	9,314,000	15,677,800	▲ 6,363,800	実践促進事業 905,000 連携推進事業 1,400,000 暮らし方普及事業 796,000 企画広報事業 1,564,000 グリーン購入実践プラン滋賀 4,649,000
管理費	3,770,000	3,850,000	▲ 80,000	給料手当・法定福利費等 2,300,000 事務所費等 860,000 旅費・通信運搬費・消耗品費等 600,000 日本エシカル推進協議会会費 10,000
租税公課	316,000	72,200	243,800	消費税、地方税
予備費	300,000	300,000	0	
支出合計	13,700,000	19,900,000	▲ 6,200,000	

資 料 集

1. 活 動 ビ ジ ョ ン
2. 定 款
3. 運 営 体 制
4. 役 員 名 簿
5. 会 員 名 簿

1. 一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 活動ビジョン

ミッションの位置づけ

A. 事業者の環境行動の水準を高める	D. 未来に向けて活動を深める
B. 会員の想いと活動をつなげる	
C. 「未来よし」な暮らしを広める	

SGN 新活動ビジョン

ビジョン	滋賀から「グリーン経済」をつくる ～ 子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる「未来よし」な社会をつくる ～			
ミッション	A. 事業者の環境行動の水準を高める	B. 会員の想いと活動をつなげる	C. 「未来よし」な暮らしを広める	D. 未来に向けて活動を深める
事業名	実践促進事業	連携推進事業	暮らし方普及事業	企画広報事業
活動のテーマ	・事業者のグリーン購入の取組推進 ・環境・CSR・CSV活動の推進	・様々な分野における消費行動を通じた課題解決の研究推進 ・会員の連携した取り組みの推進	・グリーン購入、エシカル消費の普及啓発 ・環境配慮商品に関する情報提供	・活動のアピール、情報提供 ・グリーン購入推進方法の検討や政策提言 ・活動全体の総括

SGN 中期計画

活動期間：2020年4月～2023年3月（3年間）

事業	1. キャンペーン活動 2. 自治体連絡会議 3. GPプラン滋賀推進事業【県委託】 ① 実践講座×6回 ② 基礎研修会×4回 ③ 登録者ヒアリング・実践支援 他	1. 会員交流の場の提供 2. 食のグリーン購入研究会 3. ゼロエミッション研究会 4. エコ交通研究会 5. 生物多様性と環境・CSR研究会 6. MORIと暮らしの研究会 他 7. グリーン経済フォーラム	1. 環境配慮商品紹介(いちおしリスト他) 2. 自治体部会「買うならエコ！」リレー 3. 啓発資料の作成・貸出 4. 講師派遣事業 5. 啓発イベント等開催・出展・参加 6. グリーン購入＋エシカル キャンペーン 7. グリーン購入＋エシカル推進事業【県委託】 ※2020年限り ① 普及啓発キャンペーン ② 消費者リーダー育成講座	1. 会員総会 2. ニュースレター 3. ホームページ 4. メルマガ・FAXリリース 5. 表彰制度 6. 活動成果の確認と調整 7. 政策提言 他
担当	実践促進部会	連携推進部会（＝研究会合同会議）	暮らし方普及部会	企画広報部会
中期目標	キャンペーン参加団体数 年間200団体を目指す	研究会事業への参加者 3年間で延べ500人以上とする	キャンペーン個人参加者 年間1万人以上を目指す	年1回以上活動に参加する会員を 3年間で70%に引き上げる

2. 一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク（以下「本法人」という。）と称する。

(事務所)

第2条 本法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本法人は、環境への負荷ができるだけ小さい製品やサービスを優先的に購入するグリーン購入活動をはじめとする環境負荷低減活動により、滋賀から環境負荷の小さい製品やサービスの市場形成を促し、持続可能な社会の構築に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本法人は、前条の目的を達成するため、環境負荷低減活動の推進に必要な次の事業を行う。

- (1) 実践促進および普及啓発事業
- (2) 調査研究および情報提供事業
- (3) 連携推進事業
- (4) 県産品やサービスの普及支援事業
- (5) 会員相互の情報交換、会員のための活動支援事業
- (6) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

(法人の構成員)

第5条 本法人の会員は次のとおりとする。

- (1) 正会員 本法人の目的に賛同して入会した事業者、消費者団体、行政機関等の団体
 - (2) 賛助会員 本法人の目的に賛同し、これを支援する個人または団体
- 2 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）上の社員とする。

(入会)

第6条 本法人の会員になろうとする者は、理事会において別に定める入会申込書を事務局に提出して申し込むものとする。

2 会員の入会は、理事会でその可否を決定し、これを本人に通知する。

(会費)

第7条 本法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員は会員総会において別に定める会費を事業年度ごとに納入しなければならない。

(退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、会員総会の特別決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) 本法人の定款、規則又は会員総会の決議に違反したとき。
- (2) 本法人の名誉を著しく傷つけたとき。
- (3) その他、除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 2年以上会費を納入しないとき。

(2) 総正会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡し又は解散したとき。

(会員資格の喪失に伴う権利及び義務)

第11条 会員が前3条の規定によりその資格を喪失したときは、本法人に対する会員としての権利を失い、義務を免れる。正会員については、一般法人法上の社員としての地位を失う。ただし、未履行の義務は、これを免れることができない。

2 本法人は、会員がその資格を喪失しても、既に納入した会費及びその他の拠出金は、これを返還しない。

第4章 会員総会

(構成)

第12条 会員総会は、すべての正会員をもって構成する。

2 前項の会員総会をもって一般法人法上の社員総会とする。

3 会員総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(権限)

第13条 会員総会は、次の事項について議決する。

- (1) 会費の額
- (2) 理事及び監事の選任及び解任
- (3) 各事業年度の決算報告
- (4) 会員の除名
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 会員総会は、定時会員総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に、臨時会員総会として開催する。

2 会員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

(議長)

第15条 会員総会の議長は、会長がこれに当たる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故等による支障があるときは、理事会があらかじめ決定した順序によって、副会長が会員総会の議長となる。

(決議)

第16条 会員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う（「特別決議」という。）。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

(議決権の代理行使)

第17条 会員総会に出席できない正会員は、他の正会員を代理人として会員総会の議決権を行使することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書面をあらかじめ本法人に提出しなければならない。

2 前項の代理権の授与は、会員総会ごとに提出しなければならない。

3 第1項の正会員又は代理人は、代理権を証明する書面の提出に代えて、政令で定めるところにより、本法人の承諾を得て、当該書面に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができる。この場合において、当該正会員又は代理人は、当該書面を提出したものとみなす。
(書面による議決権の行使)

第18条 書面により議決権を行使できる場合には、正会員は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、会員総会の日時の直前の業務時間の終了時までまでに当該記載をした議決権行使書面を本法人に提出して行う。

2 前項の規定により書面によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

(電磁的方法による議決権の行使)

第19条 電磁的方法により議決権を行使できる場合には、正会員は、政令で定めるところにより、本法人の承諾を得て、会員総会の日時の直前の業務時間の終了時までまでに議決権行使書面に記載すべき事項を、電磁的方法により本法人に提出して行う。

2 前項の規定により電磁的方法によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

(議事録)

第20条 会員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及びその会員総会において選任された議事録署名人2名以上が、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

(役員の設定)

第21条 本法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 5名以上13名以内

(2) 監事 3名以内

2 理事のうち1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。理事のうち2名を副会長とする。

(役員を選任等)

第22条 理事及び監事は、会員総会の決議によって選任する。

2 会長及び副会長は、理事会の決議によって、理事の中から選定する。

3 監事は、本法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、本法人を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐し、その業務を執行し、会長が欠けたとき又は会長に事故等による支障があるときは、理事会があらかじめ決定した順序によって、その業務執行に係る職務を代行する。

4 会長及び副会長は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

3 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べなければならない。

(役員任期)

第25条 役員任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時会員総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。増員により選任された理事の任期は、他の理事の任期の残存期間と同一とする。

3 定款で定めた役員の定数が欠けた場合には、退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 役員は、会員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(役員報酬等)

第27条 役員は、無報酬とする。

2 役員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

(取引の制限)

第28条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする本法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする本法人との取引

(3) 本法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における本法人とその理事との利益が相反する取引

(役員責任の免除)

第29条 本法人は、役員一般法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

(名誉会長)

第30条 本法人に、名誉会長を置くことができる。

2 名誉会長は、理事会において任期を定めた上で選任する。

3 名誉会長は、本法人への顕著な貢献が認められる個人で、本法人の活動に指導、助言をする。

4 名誉会長は、無報酬とする。

(アドバイザー)

第31条 本法人に、アドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、理事会において任期を定めた上で選任する。

3 アドバイザーは、本法人の目的に賛同する個人で、環境負荷低減活動に関わる専門的な知識や経験を有する者とし、本法人の活動に指導、助言をする。

4 アドバイザーは、無報酬とする。

第6章 理事会

(構成)

第32条 本法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第33条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 本法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 会長及び副会長の選定及び解職

(4) 幹事の選任及び解任

(5) 入会の基準の決定

(6) その他法令又はこの定款で定められた事項

(招集)

第34条 理事会は、法令に別段の定めがある場合を除き、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故等による支障があるときは、副会長が理事会を招集する。

(議長)

第 35 条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故等による支障があるときは、理事会があらかじめ決定した順序によって、副会長が理事会の議長となる。

(決議)

第 36 条 理事会の決議は、決議に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、理事(当該事項について議決に加わることができる者に限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が当該提案に異議を述べたときはこの限りでない。

3 理事又は監事が、理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知したときは、当該事項を理事会へ報告することを要しない。ただし、第 14 条第 4 項の規定による報告については適用しない。

(議事録)

第 37 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 理事会に出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。ただし、会長の変更を行う理事会については、他の出席した理事も記名押印する。

3 第 1 項の規定により作成した議事録は、理事会の日から 10 年間主たる事務所に備え置かなければならない。

第 7 章 幹事会

第 38 条 会長は、本法人の事業の円滑な遂行を図るため、理事会の決議を経て、幹事会を設置することができる。

2 幹事会は、幹事をもって構成し、幹事は、正会員のうちから理事会において選任する。

3 幹事の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

4 幹事は、無報酬とする。

5 幹事会は、その活動の結果について、随時理事会に報告する。

6 幹事会は、必要に応じて部会を設置することができる。部会には、幹事以外の会員も参加することができる。

7 幹事会及び幹事に関する必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が別に定める。

第 8 章 ワーキンググループ

第 39 条 本法人に、研究会等のワーキンググループを置くことができる。

2 ワーキンググループについては、理事会において別に定める。

第 9 章 財産及び会計

(事業年度)

第 40 条 本法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第 41 条 本法人の事業計画及び収支予算は、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、会長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3 前項による収支は、新たに成立した予算に基づくものとみなす。

4 事業計画及び収支予算の書類については、主たる事務

所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。

(事業報告及び決算)

第 42 条 本法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、同項第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、定時会員総会に提出し、同項第 1 号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。

3 第 1 項の承認を受けた書類のほか、次の書類を主たる事務所に 5 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

4 本法人は、剰余金の分配を行うことができない。

第 10 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 43 条 この定款は、会員総会の特別決議によって変更することができる。

(解散)

第 44 条 本法人は、会員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第 45 条 本法人が清算をする場合において有する残余財産は、会員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は滋賀県に贈与するものとする。

第 11 章 公告の方法

(公告)

第 46 条 本法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第 12 章 他の団体・組織との連携

(他の団体等との連携)

第 47 条 本法人は、本法人の活動に必要な範囲において、全国組織および他の地域組織のグリーン購入ネットワークなど、他の団体・組織との連携に努めるものとする。

第 13 章 事務局

(設置等)

第 48 条 本法人の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長は、理事会の承認を得て会長が任免し、その他の職員は、会長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

5 事務局には、その運営助言を行う事務局運営委員会を会長の任免により置くことができる。

6 事務局運営委員は無報酬とする。

第14章 雑則

(委任)

第49条 この定款に定めるもののほか、本法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(最初の事業年度)

第50条 本法人の設立初年度の事業年度は、本法人の成立の日から平成26年3月31日までとする。

(設立初年度の事業計画等)

第51条 本法人の設立初年度の事業計画及び収支予算は、設立時正会員の定めるところとする。

(設立時役員等)

第52条 本法人の設立時役員は、以下のとおりとする。

※記載省略

(設立時正会員の名称及び住所)

第53条 本法人の設立時正会員の名称及び住所は、以下のとおりとする。

(1) 名称 滋賀県

住所 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

(2) 名称 公益財団法人淡海環境保全財団

住所 滋賀県大津市松本一丁目2番1号

(法令の遵守)

第54条 この定款に定めのない事項は、すべて一般法人法その他の法令に従う。

附則

この定款は、平成25年4月1日より施行する。

附則

第30条(名誉会長)を新設、第14章附則を雑則に変更し、新たに附則を追記する変更を行ったこの定款は、平成27年6月5日より施行する。

附則

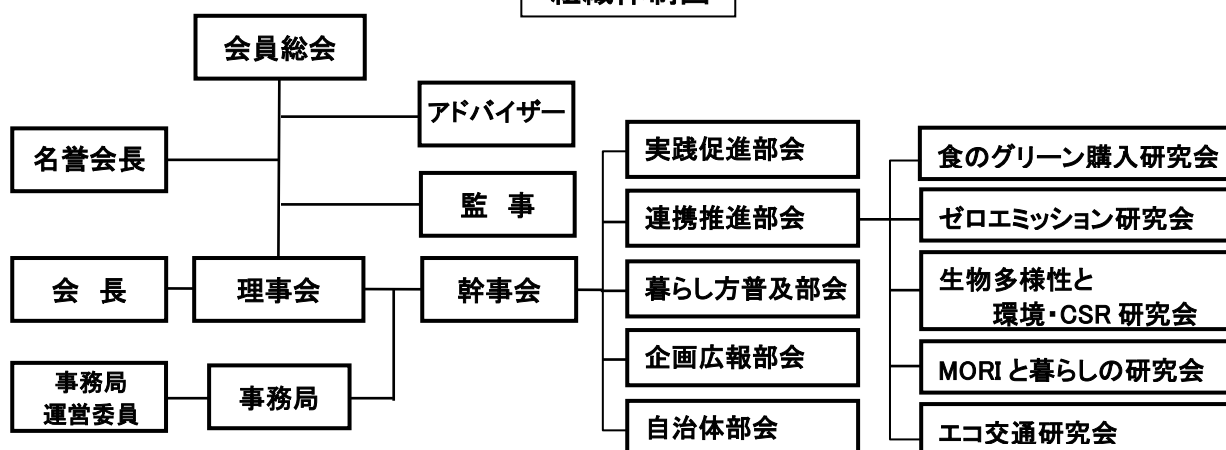
第47条第2項を削除したこの定款は、平成28年5月26日より施行する。

附則

第1条(名称)を変更したこの定款は、令和元年6月4日より施行する。

3. 一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク 運営体制

組織体制図



4. 一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク 役員名簿

理事・会長	公立大学法人 滋賀県立大学	名誉教授	秋山 道雄
理事・副会長	公益財団法人 淡海環境保全財団	理事長	中鹿 哲
	公立大学法人 滋賀県立大学	環境科学部 教授	高橋 卓也
理事	旭化成住工株式会社 本社滋賀工場	工場長付担当課長	山田 忠仁
	株式会社 沢田商店	代表取締役	沢田 昌宏
	株式会社 平和堂	サステナブル推進室 室長	鷗鷯 真知子
	特定非営利活動法人 碧いびわ湖	代表理事	村上 悟
	草津市	教育委員会 教育長	藤田 雅也
	滋賀県	会計管理局 次長	辻本 誠
監事	株式会社 滋賀銀行	サステナブル戦略室 室長	嶋崎 良伸
	公益財団法人 滋賀県産業支援プラザ	副理事長	千代 博

5. 一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 会員名簿

【企業】(株)アアルズ/アインズ(株)/(株)アイ・イー・ジェー/(株)アオヤマエコシステム/(株)アケボノ/アケボノ特機(株)/旭化成(株)守山製造所/旭化成住工(株)本社滋賀工場/アスト滋賀/(株)アズマ/アズマヤ(東屋紙店)/油藤商事(株)/アマタ(株)/(株)アヤハディオ/(有)荒木テクニカル/有川製薬(株)/(株)アルナ矢野特車/
(株)イケダ光音堂/(株)いずみ二一/一圓テクノス(株)/(株)一花/(株)市金工業社/(株)伊藤園/伊藤忠テクノソリューションズ(株)/(株)イトーキ 滋賀事業所/(株)井之商/(株)イマジョー/インフォフィール(株)/(有)イーグル電子製作所/
(株)ウィードプランニング/(株)ウエダスポーツ/(株)ウエノ/ウッドワーク滋賀 堤木工所/
(株)エコパレット滋賀/エコロテック(株)/(株)エスサーフ/エスジーエスエンジニアリング(株)/(株)エフアイ/
(株)FM おおつ/(株)えふえむ草津/(株)エフエム滋賀/エフケーション(有)/(株)エース産業機器/
近江印刷(株)/近江製函(株)/(株)近江園田ふぁーむ/近江鍛工(株)/近江鉄道(株)/
(株)近江ミネラルウォーターサービス/近江もーれつや/大阪ガス(株) 滋賀事業所/太田印刷所/(株)太田種苗/
大津紙業写真印刷(株)/大津マルキ(株)/大西電子(株)/(株)大林建設/(株)大山建設/(株)岡根/(株)オギキチ/
(株)奥田工務店/(株)奥山ポンプ商会/音伍繊維工業(株)滋賀営業所/(株)OHACO/(株)オフィス・サービス/
オフィスタータル(株)/(有)オフィス・エルランティアー/オムロン(株)草津事業所/オリックス・ファシリティーズ(株)/
(株)オーケーエム/
かがり司法書士・行政書士事務所/かたぎ古香園/カネ上(株)/(株)金田工業/兼松総合印刷(株)/(株)叶匠寿庵/
(株)川源/川重冷熱工業(株)滋賀工場/(株)カワセコーポレーション/河原啓文行政書士事務所/
観光交流企画室 TAC/関西エムアイ(株)/関西ベストフーズ(株)/(有)ガイアコミュニティ/
(有)キクヤオフィスサービス/(株)きじまや/キシステム(株)/キタイ設計(株)/(有)キタガワ/(有)キタジマ和光堂/
(株)木の家専門店 谷口工務店/(株)木下カンセー/木村電工(株)/木村文具/(株)キャムズ/
(有)キャリアネットワーク滋賀/京都理化学器械(株) 滋賀支店/協和テクノロジーズ(株)/(株)清友商会/
キリンビール(株)滋賀工場/近畿環境保全(株)/(株)近畿理研/(株)近新/(株)キントー/
(株)クサツエストピアホテル/クチムラ/國松司法書士事務所/熊谷電工(株)/クミノ工房/(有)クリエイト・マエダ/
黒田紙業(株)/(株)桑原組/(株)GRiP' S/(株)K Planning/(株)公益社/農業法人(有)甲賀もち工房/甲賀高分子(株)/
小弥百貨店/光洋(株)/(株)高陽建設/(株)コクヨ工業滋賀/コクヨマーケティング(株)/コスガ印判/
(株)国華荘 びわ湖花街街道/小林事務機(株)/(株)湖陸電機/(株)コンセ/(株)ゴーシェー/
(株)彩生舎/サイテック(株)/(株)斉藤ポンプ工業/(株)坂田工務店/佐々木印刷(有)/(株)サニー商事/(有)澤五車堂/
(株)沢田商店(眠りのプロショップ Sawada)/(株)サンエー/三協高圧(株)/(株)サンクス/三光合成(株)滋賀工場/
(株)サンコー製作所/三大宝建設(株)/(株)三東工業社/(株)サンファミリー/三陽建設(株)/サンライズ出版(株)/
三和産業(株)/三和精機(株)滋賀製作所/サークルワークス(株)/
(株)シガウッド/滋賀貨物運輸(株)/(株)しがぎん経済文化センター/(株)滋賀銀行/しがぎんリース・キャピタル(株)/
滋賀建機(株)/(株)シガ建装/(株)滋賀原木/滋賀殖産(株)/滋賀ダイハツ販売(株)/滋賀大和電設工業(株)/滋賀東リ(株)/
滋賀トヨペット(株)/(株)シガドライウィザース/滋賀ビジネスマシン(株)/(株)滋賀富士通ソフトウェア/
滋賀双葉ビル整備(株)/(株) 滋賀ホイストサービス/(株)滋賀リビング新聞社/(株)シスコ 滋賀支店/
(株)シバタプロセス印刷/(株)芝山タイヤ工業所/(株)清水合金製作所/(株)清水商会/(株)シミズ事務機/
(株)写真化学/(株)松栄サービス/(株)昭建/(有)正野博文堂/シンコー(株)滋賀支店/(株)シンコーメタリコン/
新江州(株)/進々堂商光(株)/(株)JTB 滋賀支店/上西産業(株)/(株)ジンジ/
(株)杉本商事/杉本総合会計/(株)杉山電設/鈴木ヘルスケアサービス(株)/(株)スター/(株)スプーンテーブル/
(株)スマイ印刷工業/住江テクノ(株)/(株)ずゑ平/セトレ マリーナびわ湖/(株)セブンワンツリーズ/
(株)千成亭風土/(有)総合防災ニシザワ/(有)創楽/ソエダ(株)/
(株)タカシタ消防/高橋金属(株)/高畑産業(株)/(有)高宮ビジネス/匠堂合同会社/(株)タグチ/(有)田中印刷所/
田中建材(株)/(株)田中誠文堂/(株)タナカヤ/谷口印刷(株)/(有)タニグチオフィスシステム/(株)谷口土木/
タネダオフィスシステム(株)/たねやグループ/田淵卓商店/(株)タマヤ/(有)他谷無線商会/
ダイキン工業(株)滋賀製作所/(株)大翔/ダイハツ工業(株)滋賀(竜王)工場/(株)ダイフク/大和電設工業(株)滋賀支店/
(株)ダスキン湖南/(株)地域環境計画/(株)中央精器 滋賀支店/(有)ツイキコーポレーション/ツジソト(株)/
辻村写真事務所/角川電機/ティーエムエルデ(株)/TDS(株)/帝産湖南交通(株)/(株)テクノサイエンス/
寺田商事(株)/寺村書店/(株)デジ・プリント滋賀/電気硝子ユニバーサポート(株)/(有)電腦自由亭/
東郷化成(株)/東洋建設(株)/(株)東洋石創/東洋紡(株)総合研究所/東レペフ加工品(株)/(有)トップサイン/
鳥羽建設(株)/トヨタカローラ滋賀(株)/(株)トヨタレンタリース滋賀/トラヤ商事(株)/トーア(株)マキノ工場/

(株)ナイキ 彦根工場／中川測量事務所／中川テント(株)／中島商事(株)／(株)中山スポーツ／長岡産業(株)／長浜信用金庫／(有)長浜ユニフォーム／(株)ナックウェブ／夏原工業(株)／西川嘉右衛門商店／西川テックス(株)／(株)西堀／(株)西村教材／西村建設(株)／(有)西村商店／日産陶業(株)／日新産業(株)／(株)日本警綜／日本シン・光源(株)／日本電気硝子(株)／日本観光開発(株)／日本ガラストロンクス(株)／日本黒鉛工業(株)／日本ソフト開発(株)／日本メンテナンスエンジニアリング(株)滋賀支店／企業組合ねっこの輪／ネットヨタ滋賀(株)／(有)ネヌケン／(株)ノエビア 滋賀工場／

(株)ハイドロテック／(株)萩原建設／端材工房／(有)橋本燃料／(有)畑中金物店／花文造園土木(株)／(有)ハヤシ／(株)ハン六／(有)ハン六タイプ／(株)パルス／(株)パールライス滋賀／

光舗道建設(株)／(有)東呉竹堂／(株)ヒキタ事務機／樋口金物(株)／(有)彦根図書製本所／(株)ヒコハン／

(株)ヒサダ昭栄堂／(株)日立建機ティエラ／(株)日吉／(株)ヒラカワ 滋賀事業所／(株)平柿文仙堂／(株)ひらつか建築／

(株)ヒロセ／Bistro chicci／琵琶湖汽船(株)／びわ湖パナソニックファミリー会／びわ湖放送(株)／

(株)ふうしん／福田白衣(株)／(株)福本設備／フジイインファニット(株)／(株)フジサワ建設／富士出版印刷(株)／藤野商事(株)／富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株) 京都支社 滋賀営業所／(株)扶桑建設／

(株)古川与助商店／(有)ふるき／(株)古澤建設／(株)ブルーム／(株)文昌堂／(株)プリセット／兵神装備(株)滋賀事業所／(株)平和堂／ベストハウスネクスト(株)／豊国商事(株)／(株)本庄／

前出産業(株)／(株)まごころ／(株)孫幸／(有)正木屋商店／MAXWOOD／MAUグループ 松井産業(株)／

(株)松居土木／(株)松浦組／(株)松田安太郎商店／丸松木材(株)／(株)マンアップ／

(株)三峰環境サービス／三井住友海上火災保険(株) 滋賀支店／(株)三井田商事滋賀営業所／

三菱ケミカル(株)滋賀研究所／ミドリ安全滋賀(株)／(株)水口テクノス／(有)南商店／ミナミ防災(株)／

(株)三原モータース／宮川印刷(株)／(株)宮川商店／(株)みんなの奥永源寺／

(株)向茂組／村防工業(株)／(株)村田自動車工業所／(株)ムーヴテック／(株)明豊建設／(株)メディア・ブレン／

メナードフェイシャルサロン SKIP TIERRA／森正商事(株)／(株)森田電器工業所／守山ガス器具センター住設(株)／

(株)ヤサカ／(有)柳印刷店／山岡ヤマゼン(株)／(株)山久／山科精器(株)／(株)ヤマジ／ヤマジックス(株)／(株)ヤマダ

／(有)山田東店／(有)ヤマダ油脂／ヤマト運輸(株)／(株)山名印刷／山星商会／山室木材工業(株)／ヤマモト(株)／

(有)山本材木店／(株)ユニーズ／ヨコタ農園／(株)吉工／(株)吉田土建／(株)ヨシダヤ／

(株)ラーゴ／リコージャパン(株)滋賀支社／(株)麗光 栗東工場／(株)レッドペンギン／(株)ロハス長浜／

ロマン楽器(株)／和研薬(株)／他 1 社

【行政】滋賀県／近江八幡市／大津市／草津市／甲賀市／湖南市／高島市／長浜市／東近江市／彦根市／米原市／守山市／野洲市／栗東市／愛荘町／甲良町／多賀町／豊郷町／日野町／竜王町／湖北広域行政事務センター

【団体】(特非)愛のまちエコ倶楽部／(特非)碧いびわ湖／(特非)HCC グループ／

(特非) NPO子どもネットワークセンター天気村／FEC自給圏ネットワーク／(公財) 淡海環境保全財団／

(公財)淡海文化振興財団 淡海ネットワークセンター／(特非)おおつ環境フォーラム／

(特非)おおつ環境フォーラム KES 普及推進事業チーム／おおつ交通まちづくり推進会／(一社)お結び。／

(一財)近畿健康管理センター／GINLALA／

くうのるくらすの創造舎／草津市国際交流協会／グリーン近江農業協同組合／(一社)蛍光管リサイクル協会／

工房シーダーノ／(特非) コミュニティ・アーキテクトネットワーク／コミュニティダイニング 倅屋／

金勝生産森林組合／サンキューファインホース夢プロジェクト(steed プロジェクト)／(公財)滋賀県環境事業公社／

(公社)滋賀県環境保全協会／(一社)滋賀県建設業協会／(公財)滋賀県交通安全協会／滋賀県国民健康保険団体連合会／

滋賀県産間伐材有効利用促進グループ／(公財)滋賀県産業支援プラザ／(特非)滋賀県社会就労事業振興センター／

滋賀県商工会連合会／滋賀県生活協同組合連合会／(一社)滋賀県造林公社／滋賀県地域女性団体連合会／

滋賀県農業協同組合中央会／公立大学法人滋賀県立大学／滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル／

滋賀県立大学廃棄物バスターズ／(公財)滋賀県緑化推進会／滋賀県地方自治研究センター／滋賀中央森林組合／

しが農業女子 100 人プロジェクト／志我の里、薪来歩／しがローカル SDGs 研究会／食まちアグリゲーション／

循環型社会創造研究所えこら／

生活協同組合コープしが／せせらぎの郷／全国農業協同組合連合会 滋賀県本部／

地域エネルギー研究会／辻茶道教室／(特非)日本食品リサイクルネットワーク／

(一社)日本自動車販売協会連合会滋賀県支部／(福)八身福祉会 八身共同印刷／(特非)比叡平・陽だまりの会／

BIWAKO ZERO WASTE／(特非)琵琶故知新／ファブリカ村／フードバンクびわ湖／

マザーレイクにありがとう実行委員会／Link しが／レイクスファーム／レーク大津農業協同組合／

輪の国びわ湖推進協議会／(一社)ワンダフルライフ

会員数 475 団体 (企業 389、行政 21、団体 65) 2021 年 5 月 13 日 現在



一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク事務局

〒520-0807 大津市松本一丁目2-1 大津合同庁舎6階

TEL 077-510-3585

FAX 077-510-3586

Email : sgpn@oregano.ocn.ne.jp

ホームページ <https://www.shigagpn.gr.jp/>